



国の裏切りを許さない!!

～障害者自立支援法のゆくえ～

弁護士 野田 葉子

成立当初から強い反対のあった障害者自立支援法の廃止を求めて、全国で自立支援法違憲訴訟が行われていたが、平成22年1月、同法廃止をマニフェストに掲げていた民主党が政権を取ったことから、全国の訴訟で国と原告団との和解が成立しました。

愛知でも、平成22年4月14日、国と和解が成立し、訴訟は終結しました。

和解の内容は、国が自立支援法を廃止して新法を制定し、障害者が社会の対等な一員として安心して暮らせるように最善を尽くすことを約束するものとなりました。

ところが5月下旬、突然、自立支援法「改正」法案が提案され、あつという間に衆議院で可決されてしまいました。

この改正案は、自民・公明両党が以前提案していた法案とほぼ同じ内容で、到底原告団が納得できるようなものではありません。

そもそも、自立支援法を廃案にする、という内容で和解

をしたのに、改正法の提案とはどういうつもりなのでしょう。うか。

このように民主党政権は、訴訟での和解が成立した途端手のひらを返したような態度に出たのです。

その後この改正案は参議院の委員会でも可決され、あとは参議院本会議で可決されるだけ、という状況にまでなりましたが、鳩山首相退任騒動のため参議院本会議は開催されず、その後なんとか廃案に持ち込むことができました。

しかし、また同様の改正案が出される可能性は十分にあります。

私たちはこのような国の裏切りを絶対に許すわけにはいきません。

国には、和解の内容どおり自立支援法を廃止して、障害者が安心して暮らせるような内容の新法を制定させなければなりません。

そのためにも、引き続きご支援をお願い致します。